



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@bz04.plala.or.jp](mailto:okayarc@bz04.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2578 回例会 2012 年（平成 24 年）7 月 31 日（火）

点 鐘：宮坂 伸  
斉 唱：奉仕の理想

司 会：藤森睦美  
ラッキーNo.：No. 4 中畑隆一

## 会長挨拶

ロンドンオリンピックも 4 日目に入ったようですが、日本選手の活躍に国中が熱くなり、熱帯夜の暑さも相まって寝不足の方もそろそろ出始めたところではないでしょうか。新たな種目に注目が集まったり、ベテラン選手を抑え新人が活躍し始めている様子を見ると、確実に世代の変化といえますか、世の中が動いているなどということを実感いたします。

早朝、家の庭に朝顔がさわやかに開花しております。ところで朝顔がなぜ朝、決まった時間に花を咲かすかという事を研究した方がおりました。その結果、光や温度だけではないことが分かったそうです。つまり 24 時間光を当てっぱなしにしてもついついつぼみは開かなかったそうです。朝顔のつぼみは朝の光によって開くものでなく、それに先立つ夜の時間の冷たさと闇の深さが不可欠であるということが明らかになったというのです。

朝顔に限らず植物万般が太陽の光と熱こそ成長の要因と思い込んでいましたが、それと同じくらい夜の冷たい時間と深い闇が必要だったとはまさに思いもかけない盲点でありました。しかしよく考えて見れば光の当たったオリンピック選手たちも実は血の吐くような苦難や挫折の闇を十分に味わった結果であろうと考えると、なるほどとうなずけることかもしれません。選手たちの活躍にエールを送るものであります。ありがとうございました。

## 幹事報告

- ・ 10/13・14 地区大会の出欠を回覧します。全員登録となりますので、多くの方のご参加をお願いします。2 日目はバスを出します。よろしくをお願いします。
- ・ 次週例会終了後にクラブ事務所にて理事会を開催します。

## 例会変更

辰野 RC=8/15(水)特別休会。8/29(水)早朝写経例会に変更。ビジター受付は 29 日 11:30～12:30 クラブ事務所にて。

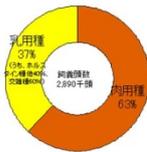


**牛肉・牛内臓の特徴**



**肉用牛の都道府県別飼養頭数**

肉用牛の種類別飼養頭数割合



養牛の生産動向は、乳牛の生産が、全生産量の約45%程度に減少、代わりに乳肉兼用牛や肉用種が増加。

資料：農林水産省「農業統計（平成20年2月1日現在）」

●種類別に飼養頭数を見ると、和牛等肉用種が63%、乳用種が37%となっています。  
●都道府県別では、北海道が51万1,300頭で最も多く、次いで鹿児島県が36万7,300頭、宮崎県が29万5,400頭、熊本県が14万7,600頭となっています。

順位	生産量		
	飼養頭数 (千頭)	生産額 (億円)	割合 (%)
1	北海道	511,300	17.7
2	鹿児島	367,300	12.7
3	宮崎	295,400	10.2
4	熊本	147,600	5.1
5	徳島	112,400	3.9
6	徳島	102,300	3.5
7	宮崎	99,800	3.4
8	宮崎	90,700	3.1
9	沖縄	84,000	2.9
10	熊本	83,400	2.9

**ニコニコボックス**

井上保子・梅垣和彦・太田博久・北澤洋之介・小林純一・小松正二・佐藤有司・瀬戸雅三・中嶋孝一・濱 俊弘・林広一郎・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 進・山岸邦太郎・山崎典夫 伊藤ハムミート販売東(株)佐藤克巳様ようこそお越し下さいました。岡谷 RC 会員一同歓迎致します。卓話「食肉の知識」を楽しみにしています。

三井章義パストガバナー様 卓話の謝礼をニコボックスへ

宮坂宥澄 御陰様で去る7月22日に9回目の八千枚護摩行を成満することが出来ました。長い間欠席続きで済みませんでした。元気100倍でまた頑張ります。ありがとうございました。

牛山孝一・小口成人・小口泰史・佐伯克己・高木昭好・竹村一幸・中村文明・濱毅・林 裕彦・原 史郎・藤森睦美・矢島 實・山岡正邦 オリンピックはじまりました。がんばれ日本。

**出席報告**

会員数45名、出席者35名、出席率77.78%、前々回訂正86.67%

2012-2013 年度 R I テーマ  
奉仕を通じて  
平和を

